

落石地区マリンビジョンニュース



落石地区マリンビジョン協議会では、様々な人たちと連携してビジョンを実現するために取り組んでいます。その取り組み内容を随時お知らせするため、「落石地区マリンビジョンニュース」として定期的に発行しています。

ご感想、ご意見等お寄せ下さい。

発行・編集：落石地区マリンビジョン協議会事務局

落石漁港屋根付き岸壁 完成式

衛生管理型岸壁を目的として平成 19 年より岸壁の整備を進めてきており、水産物の安心・安全な供給と産地の競争力強化を図るため、産地市場と一体となった落石漁港屋根付き岸壁が平成 25 年 9 月 8 日から供用が開始され、落石漁港の落石第 3 市場前にて、9 月 14 日に落石漁港屋根付き岸壁の完成式が行われました。

落石漁港の岸壁に屋根が完成されたことで、直射日光を遮ることにより漁獲物の鮮度保持が図られることや、雨や雪の他、ほこりや鳥糞から荷揚げされました漁獲物を守ることができ衛生管理の強化が図られこととなります。

屋根付き岸壁が完成し本格的に供用されることにより、衛生管理面の向上や設備を利用した様々なイベントなどさらなる取り組みが期待できる大変重要な設備になるとことだと思われます。今後は衛生管理型施設の有効活用、衛生管理型市場として食の安心、安全を図り、衛生管理の向上に努めていければと思います。



落石漁港屋根付き岸壁延長部分(旧上架場前)完成

落石漁港において、-4.0m 岸壁（第 3 市場前）の屋根の設置完了に引き続き、-2.5m 物揚場（旧上架場前）の屋根の延長部分の設置工事が、4 月 30 日に完了し供用が開始されました。これにより、第 3 市場前の荷揚げ岸壁に全て屋根が設置され、衛生管理型の岸壁として、本格的な漁期に向けて期待がなされています。

-4.0m 岸壁（第 3 市場前）を A 棟とし、-2.5m 物揚場（旧上架場前）を B 棟として、総延長約 220m の屋根が設置されており、照明設備も設置されているため夜間の利用にも対応することができます。

岸壁に屋根が設置されたことにより、漁船からの荷揚げ中による漁獲物を鳥糞やほこりから保護することができ、漁獲物の衛生管理の向上が図られます。その他にも、市場からトラックへの漁獲物の搬出時や市場内への搬入時にも漁獲物の保護の効果を得ることができ、衛生管理の向上が図られます。



ほっき堀体験学習



平成 26 年 5 月 19 日に落石小学校と昆布盛小学校の 31 名の児童が小学校が統合する前にほっき堀の交流学习会が三里浜海岸で開催されました。ほっき堀の体験を通して、地域の自然や産業に関心を持ち、地域の一員としての自覚を養ってもらうことを目的に、落石の三里浜海岸で体験学習が行われています。当日は、天候も良く、ホッキの掘り方等を学んだ児童たちはスコップ等で一生懸命にほっきを砂の中から掘り出していました。

採れたほっきは落石小学校に持ち帰り、母親の指導ので、児童がほっきのむき身に挑戦した後、ほっきカレーの具材として使用し、ほっきカレーを味わっていました。今回の体験学習には、翌年には落石小学校と昆布盛小学校が統合することになっており、それぞれの児童が交流して、統合してもお互いにすぐ親しめるように願いも込められています。



おちいし岬フットパス大会 開催！！

平成 25 年 8 月 31 日（土）に「おちいし岬フットパス大会」が開催されました。おちいし岬フットパス大会を開催するにあたり、開催日の前日まで雨が降っており、雨の影響によりフットパスコースを参加者が大会当日歩ける状況にあるかどうか心配されましたが、フットパス大会開催当日は晴天に恵まれ約 90 名の方がおちいし岬フットパス大会に参加していただき、酪農家集団 AB-MOBIT の伊藤代表の協力のもと、大会が開催されました。AB-MOBIT の伊藤代表にはフットパスコースの案内役を務めていただき、コースの説明を交えながら全長約 8km のコースを 2 時間ほどかけておちいし岬の景色を堪能しながら歩きました。

おちいし岬フットパス大会の参加者は旧落石無線電信局の前を通り、国の天然記念物のサカイツツジの群生地や海辺、断崖の景観を楽しみながら歩きました。ゴール地点でもあります落石漁協では、昼食に、海鮮工房霧娘から特性弁当の他、落石の海産物を使用した花咲がにの鉄砲汁、イカー一夜干しや秋鮭の焼き物がフットパス大会参加者に提供されました。

今回、この大会に参加された方達には、落石の自然や歴史を学び、落石の前浜で獲れた海産物の味覚等を知っていただいたと同時に、おちいし岬フットパス大会に参加して落石の自然や地域の特色を楽しんでもらい満足していただけたと思います。

尚、平成 26 年度もフットパス大会の開催を計画しており、毎年 8 月に開催されます「落石計画」と合わせた時期にフットパス大会の開催を予定として、準備に励んでいるところであります。



おちいし岬の景観



木道コース



落石岬灯台

「しお風」販売促進 PR(兵庫県西宮市)



落石産水産物の消費拡大と、落石漁協のブランド「しお風」の認知の向上を図るため、兵庫県西宮市内のスーパー山陽マルナカ西宮店にて、鮮魚コーナーを利用し、「しお風」ブランド化に取り組んでいる「船上活めあきさけ」と「船上沖詰さんま」の販売促進活動を10月5日、6日の2日間行いました。近畿圏では初めての取組であり、ブランド商品の品質の高さを訪れたお客さんにアピールし、サンマや船上活めあきさけの他に、バジルオイル漬け、塩こうじ漬けも販売し、チャンチャン焼きの試食も行い、生臭さなどもなく美味しい秋鮭であることをアピールしました。浜で漁業に携わっている人や働いている人が直接売り場に来て消費者に対して商品を説明し、アピールすることが重要であり、まず食べてもらうことにより消費者に分かって頂くことが重要であると思われま



第9回人づくり・地域づくりフォーラムin山口



平成26年2月15日に山口県セミナーパークにて、「第9回人づくり・地域づくりフォーラムin山口」で、先進的な地域振興の実践事例として、落石地区マリンビジョン協議会の取組を発表しました。全国の先進的な実践事例や研究成果の発表と情報の交流を通して、新しい地域リーダーの在り方を学ぶことを目的に実施されております。発表の場では、「衛生管理」、「水産振興」、「ブランド化」、「地域振興」のそれぞれの取り組み事例が発表され、漁協が主体となった地域振興の良い事例ということで好評を得ていました。

落石ネイチャークルーズ 乗船者3,000人突破！！



平成26年2月28日に、落石ネイチャークルーズの乗船者が平成22年の運行が開始されてから約3年が経ち、3年目の終盤に乗船者が累計で3,000人を突破しました。乗船者3,000人突破を記念して、当日に乗船する方達に落石ネイチャークルーズ協議会会長の浄土会長より突破記念の挨拶がなされ、乗船者に記念品が贈られました。年間を通して、道外、外国人の乗船者が多数おり、落石地区のみならず根室管内の地域振興に貢献できるように今後更なる発展に繋がればと思います。



落石・浜松・昆布盛・長節地区一斉合同避難訓練 実施



避難階段で避難する様子

平成26年3月18日に、落石・浜松・昆布盛・長節地区で一斉合同避難訓練が実施されました。避難訓練には、地区住民の他に、小中学校、兼由職員、漁協職員も避難訓練に参加しました。津波災害が発生した際に迅速に高台に避難できるようにしてほしいと要望しておりました避難階段がオクチシ覆道付近に設置され、今回の避難訓練で避難階段から避難しました。当日は、避難訓練のサイレンが鳴ったと同時に各地区、各場所で一斉に避難を開始され、車で高台に移動したり、徒歩又は避難階段を上ったりと様々な想定で避難訓練を行いました。

落石地区マリンビジョン協議会 会議



マリンビジョン21
MARINE VISION 21

地域を挙げて振興対策に取り組む落石地区マリンビジョン協議会の会議が平成26年5月1日に開催され、平成25年度の事業報告が行われました。北海道マリンビジョン21が策定されてから10年目を迎えたことを期に、マリンビジョンが改訂され、改訂されたマリンビジョンを基に平成26年度の事業計画の説明がされました。衛生管理・単価向上・消費流通グループでは、衛生管理では、第3市場前の屋根付岸壁の延長部分が供用開始され、ゴミ捨て禁止看板の設置や漁港清掃を行います。単価向上・消費流通では、「しお風」ブランドの販売促進を広島県と兵庫県で行う予定となっております。

水産振興グループでは、ほっき堀体験学習やチャラベツ川に植樹を予定しており、増養殖としてアサリ漁場整備に向けて適地調査を開始し、アサリの生育状況等を調べる予定となっております。

地域振興グループでは、落石ネイチャークルーズとフットパスを絡めた観光振興として、毎年8月に開催されます「落石計画」に合わせた時期に「おちいし岬フットパス大会」の開催を計画しています。また、エトピリカの繁殖が終わった9月上旬にユルリ島の清掃活動を予定し、モニターを募集し島の稀少性や将来の観光資源の考察を目指します。防災事業の面では、自宅と漁港内に一目で判断できる津波防災早見表の作成の準備を計画しています。



落石ネイチャークルーズ協議会 総会開催



平成26年5月13日に落石ネイチャークルーズ協議会の定期総会が開催されました。平成22年に当協議会が設立され、運行されてから4年が経ち乗船者が3,000人を突破しました。昨年度の実績としては悪天候による欠航が増えたため801人（前年891人）の乗船者数となりました。乗客の約7割が道外からの乗船者で、内1割が外国人となっております。平成26年度の事業計画としては、昨年に続き乗船者の計画を1,000人としております。今後のPR推進によっては期待できる状況であり利用者が落ち込む時期の新しいサービスの構築や家族向けを対象にした乗船時間を1時間程度に短縮する時間短縮クルーズを検討や、各旅行会社などへのPR活動を行います。その他にも羅臼町など近郊地域との連携、市内の宿泊施設との連携の検討など利用者の増加を目指すため、PR活動や閑散期のクルーズ設定などで目標に近づけたいとしています。

尚、収益金の一部を海鳥保護基金として積み立ててきました積立金を6月5日に、シマフクロウやオオワシなど絶滅危機にある野生動物の保護活動に努める釧路市の「猛禽類医学研究所」へ、落石ネイチャークルーズ協議会の浄土会長より「猛禽類の治療の薬代などとして活用してほしい」と猛禽類研究所の齊藤代表に寄付金が手渡されました。



◆ ◆ ◆ 編集・発行・お問い合わせ先 ◆ ◆ ◆

◆ 編集・発行 落石地区マリンビジョン協議会事務局
◆ お問い合わせ 事務局 担当:根室市水産経済部水産港湾課水産振興担当
電話:0153-23-6111 FAX:0153-24-8692

